

2018.10.31-2

大分県中津市・裏耶馬溪

(伊福の景、後藤又兵衛の墓、  
立羽田の景)





9:57 伊福の景



9:57 伊福の景



9:59





9:59 伊福の景



9:59 伊福の景



9:59



10:01  
伊福山村活性化センター駐車場



## 後藤又兵衛基次の墓

戦国の武将後藤又兵衛は、永祿三年（一五六〇年）播州で生れ、父基国は同じ播磨の国、三木城主別所代の家臣で、誠実果敢の重将であったが、又兵衛がまだ少年の頃若くして自刃した。父の遺言により同輩の小寺勘兵衛後の黒田孝隆に仕えて身心を鍛え、その心の豪胆さと劍槍の練術により、名実共に天下に聞えた勇将となった。天正十五年三月二五八七年秀吉の九州征討のとき、第一鋒の黒田勘兵衛について南下し、黒田が豊前中津に入封して国内の土豪を鎮定するとき、城井谷の剛将、宇都宮鎮房を降伏させた功労が大であったという。後、黒田如水、長政父子が筑前博多（福岡）へ入封すると、黒田二十四勇士の猛将として一万六千石を与えられて、大隈城主となったが、黒田親子とも間隙を生じて浪人となり細川忠興をはじめ諸国の大名から招かれたがこれを受けず、旧主（黒田如水、長政）の邪魔などあつてことごとく辞し、大阪の陣が起ると、秀頼の招きに応じ入城、夏の陣では大和方面に出馬して戦功があつたが、道明寺河原で討ち死にしたと伝えられている。しかし一説には大阪方の敗戦の後は放浪の旅で西下し、縁故のあるこの地へ落ちのび隠棲の中で豊臣家再興を期していたが風の便りに豊臣家廃嫡の不運を知り、遂に自刃したと伝えられる。

しばらく時が過ぎて村人は、この自刃した武士が後藤又兵衛であつたことを知り墓を建てたが、後に伊福茂助が昔の墓の荒廃を見かねて建てかえたのが宝暦十三年であつた。

中津市教育委員会







新八才溪馬耶

10:19



名勝耶馬溪  
立羽田の景

大正13年国指定

10:38

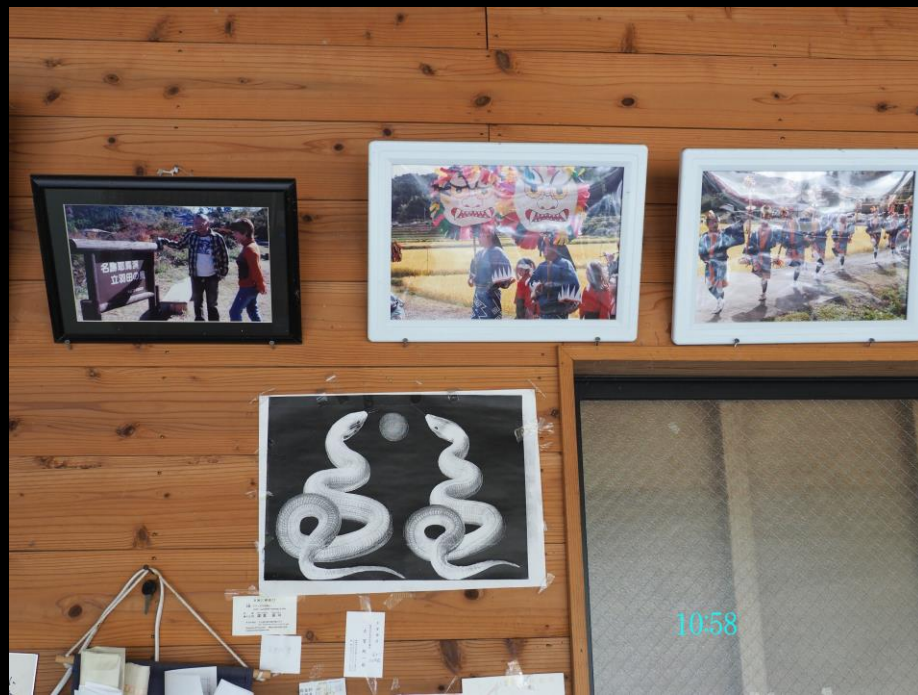




10:41











11:02 立羽田の景



玖珠温泉  
Kusu Onsen



立羽田の景  
Tachihata Scenery



ここは玖珠町古後

11:03



立羽田 通過予定時刻表 平成27年3月14日改正  
 大分交通 OTTAKOTSU

月 ~ 金 Mon ~ Fri				
行先 For	守実温泉	梶原	豊後森	行先 For
車番 No.				車番 No.
経由 Via				経由 Via
6				6
7			27	7
8	26			8
9				9
10			39	10
11				11
12				12
13				13
14	52			14
15				15
16			22	16
17		46		17
18				18
19				19
20				20
21				21
22				22
23				23
凡例	西町 - 西町経由	梶原 - 梶原経由		凡例

土・日・祝 Sat・Sun・Hol

行先 For	車番 No.	経由 Via	行先 For
6			6
7			7
8			8
9			9
10			10
11			11
12			12
13			13
14			14
15			15
16			16
17			17
18			18
19			19
20			20
21			21
22			22
凡例			凡例



11:04 立羽田の景

猫岩



11:05 立羽田の景

嫁岩



11:06 立羽田の景



嫁岩



11:06  
立羽田の景



ゴリラ岩



11:07 立羽田の景



11:08 自然公園ふれあい市

ゴリラ岩



11:08 立羽田の景



ゴリラ岩



11:18 立羽田の景



11:18 立羽田の景

END